

大使館情報

2018年11月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（10月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

[内政]

- (1) 2018年大統領選挙
- (2) 各国の動き
- (3) 連邦議会選挙
- (4) 政権移行に向けた動き

3. トピックス

- (1) 日本の外務省員によるOASブラジル選挙監視団への参加
- (2) 「2018年ブラジリア映画館」の開催
- (3) 日本人ブラジル移住110周年記念「第一回マナウス青年野球大会」の開催（在マナウス総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等 (10月発表の経済指標)

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、10月26日時点で、GDP成長率予測については、2018年は1.36%で先週から0.02%上昇、2019年は2.50%で先週から0.01%上昇した。インフレ率については、2018年は4.43%で先週から0.01%減少、2019年は4.22%で4週間前から0.02%上昇した。

(イ) 8月の鉱工業生産指数は、前月比▲0.3%で2ヶ月連続のマイナス、前年同月比は+2.0%で3ヶ月連続増となった。

(ウ) 8月の小売売上高は、前年同月比+4.1%で先月の▲1.0%から増加したほか、前月比+1.3%となり、4ヶ月ぶりにプラスを記録した。

(エ) 全国の失業率(7～9月の移動平均)は11.9%となり、前回の公表値(6～8月の移動平均)から0.2%下落して6か月連続で改善した。

(オ) 9月の貿易収支は、輸出額は190.60億ドル(前年同月比+2.15%、前月比▲15.48%)、輸入額は141.16億ドル(前年同月比+4.65%、前月比▲24.83%)で、差引き49.44億ドル(前年同月比▲4.38%、前月比+30.98%)となり、43か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 8月の拡大消費者物価指数(IPCA)は単月で0.48%となり、前月の▲0.09%から上昇した。また、過去12か月累計では4.53%となり、政府のインフレ目標(4.5%±1.5%)内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) 10月7日の次期大統領選挙で、ジャイル・ボルソナーロ候補とフェルナンド・アダッジ候補が10月28日の決選投票へ。

(イ) 10月28日の次期大統領選挙決選投票において、ジャイル・ボルソナーロ候補が当選。来年1月1日に大統領に就任予定。

(ウ) ジャイル・ボルソナーロ次期大統領はプレスを前に勝利宣言を行い、ブラジル・ファーストを目指し、雇用促進、財政均衡、債務削減、低金利、行政機関の簡素化等に取り組むとした。

(3) 中銀の金融政策等

(ア) 10月30日及び31日に開催された金融政策委員会において、中銀は政策金利を年率6.50%に据え置くことを決定。金利据え置きは5会合連続となる。

(イ) 次回金融政策委員会は、12月11日及び12日に開催予定。

(4) 為替市場

(ア) 10月の為替レートは、前半はリアル買いが進行し、リアル高傾向で推移、後半は1ドル＝3.7リアル台で横ばい。10月はリアルが対ドルで7.8%上昇し、2016年6月以降で最もリアル高が進んだ月となった。

(イ) 月の前半は、ボルソナーロ候補の支持率上昇、及び第一回投票の結果で同候補が決選投票に進出することを受け、リアルが急騰。その後、リアル買いも一服。

(ウ) 月の後半は、ボルソナーロ陣営の市場フレンドリーな政策について市場が好感する一方、

既に市場はボルソナーロ候補当選を相当程度織り込んでいること、及び米中貿易摩擦等の外部要因による影響で、1ドル=3.70レアルを中心とした幅の狭い値動きとなった。

(5) 株式市場

(ア) 10月のブラジルの株式相場 (Ibovespa指数) は、前半は上昇、後半も上昇傾向となった。

(イ) 月の前半は、上昇傾向。7日の第一回目の大統領選挙でボルソナーロ候補が決戦投票に進んだことで、国営企業の民営化促進により株式市場が活性化する期待が高まったことから、Ibovespaは前日比4.57%の高い伸び率を記録。

(ウ) 月の後半も、上昇傾向。相場はボルソナーロ候補当選を相当程度織り込み済みのため、米中貿易戦争等の外部要因による影響を受け、上げ下げを繰り返すも、31日の終値は今月最高の87,424ポイントを記録。

2. ブラジル政治情勢 (10月の出来事)

【内政】

(1) 2018年大統領選挙

(ア) 10月7日、大統領選挙が実施されるが、いずれの候補の得票も過半数に至らず。上位二名のジャイル・ボルソナーロ候補 (PSL: 自由社会党) とフェルナンド・アダッジ候補 (PT: 労働者党) の決選投票へ。

(イ) 10月28日、決選投票が実施され、ジャイル・ボルソナーロ候補が当選 (得票率は55.13%)。

(ウ) ボルソナーロ氏は、10月28日夜に勝利宣言を行い、新政権は、自由、民主主義を重視し、憲法の守護者となる旨を強調。敗北したアダッジ氏は、今後もブラジル国民のために人生を捧げたいと述べた後、ツイッター上でボルソナーロ次期大統領に祝意を發出。

(エ) ボルソナーロ次期大統領は、2019年1月1日、第38代大統領に就任予定 (任期は2022年末までの4年間)。

(2) 各国の動き

(ア) 当選後、トランプ米大統領がボルソナーロ次期大統領に電話し、両国関係を更に強化していくことで合意。

(イ) 10月30日、安倍総理からボルソナーロ次期大統領宛の祝辞を發出。

(ウ) その他、亜、露、コロンビア、チリ、西、ペルー、イスラエル、独等の各国元首がツイッターや書簡等で祝意メッセージを發出。

(3) 連邦議会選挙

(ア) 10月7日、連邦議会選挙が実施され、上院では再選出馬した議員の多くが落選。来期からは21政党が議席を有する形となり、議会構成は細分化。

(イ) 下院では、ボルソナーロ候補の勢いに乗ったPSL (自由社会党) が躍進、議席数を8から52に拡大させた。下院でも過去最高の30政党が議席を有する形となり、議会構成が更に細分化することに。

(ウ) 現職の日系連邦議員5名で再選を果たしたのはルイス・ニシモリ下院議員のみ。一方、22

歳の日系キン・カタギリ氏が下院議員に初当選。

(4) 政権移行に向けた動き

(ア) 10月29日、ボルソナーロ次期大統領はプレス取材に対し、来週にもブラジリアでテメル大統領と会談し、年金改革や銃器規制に関して協議すると発言。

(イ) 10月29日、オニキス・ロレンゾーニ次期文官長はプレスに対し、自らが政権移行チームを総括し、政権移行チームの作業を11月5日から開始すると宣言。

(ウ) 選挙後、ボルソナーロ次期大統領は、オニキス・ロレンゾーニ下院議員（文官長）の他、パウロ・ゲデース氏（経済大臣）、アウグスト・エレノ元陸軍大将（国防大臣）、マルコス・ポンテス元宇宙飛行士（科学技術大臣）の閣僚登用を決定。

(エ) 11月1日、モロ・クリチバ連邦地方裁判事がリオのボルソナーロ邸を往訪。同次期大統領の打診を受け、法務・公安大臣（含、汚職対策）就任が決定。ラヴァ・ジャット捜査を牽引してきたモロ判事の法務・公安大臣就任は、汚職対策を選挙戦の旗頭としてきたボルソナーロ次期大統領にとって大きな追い風になると各紙も広く報道。

3. トピックス

(1) 日本の外務省員による OAS ブラジル選挙監視団への参加

10月7日に行われた大統領選挙（連邦議会選挙、州知事選挙、州議会議員選挙も同日実施）に際して、OAS（米州機構）から選挙監視団がブラジルへ初めて派遣され、OAS オブザーバー国である我が国からも外務省南米課の高元次郎課長補佐が参加した。

また、10月28日に行われた大統領選挙（決選投票）に際しては、第1回投票に続き OAS 選挙監視団が派遣されることとなり、我が国からは、外務省南米課の大岩玲課長補佐が参加した。



10月7日第一回総選挙



10月28日決選投票

(2)「2018年ブラジリア映画館」の開催

10月17～22日の日程で、在ブラジル日本国大使館は当地映画館シネ・ブラジリアとともに「2018年ブラジリア映画祭」を開催した。

6日間で約2,262名を超す方々が来場し、モントリオール世界映画祭で最優秀監督賞を受賞した作品をはじめ、日本を代表する映画監督の作品6本が上映された。

なお、開会式には、藤村和広次席公使が出席し、山田彰大使の挨拶を代読した。

開会式における山田彰大使の挨拶（代読）は[こちら](#)を参照。



映画祭広告



挨拶するサミア・ランナ・シネ・ブラジリア代表代行



挨拶する藤村和広次席公使



賑わいを見せる会場

(3) 日本人ブラジル移住110周年記念「第一回マナウス青年野球大会」の開催（在マナウス総領事館）

9月21日及び22日、日本人ブラジル移住110周年記念「第一回マナウス青年野球大会」がマナウス・カントリークラブで開催された。パラ州選抜2チーム（SantsA/B）、リオ・デ・ジャネイロ市選抜チーム、サルバドル市選抜チームが参加し、ホストのマナウス市選抜の2チーム（30歳以下及び30歳以上）と合わせ計6チームが参加した。

これまで、マナウスは他州で開催された大会に参加し好成績を収めてきており、更に本年からJICA日系社会ボランティア宮田野球指導員が赴任したことで各選手のレベルの向上、体制面等が強化され、念願だった地元開催の青年野球大会を開催する運びとなった。

優勝は、近年成長著しい地元マナウスの30歳以下のチーム（Manaus）、準優勝は投打に好選手をそろえたパラ州Aチーム（Sants A）、3位はサルバドル市選抜チーム及びマナウスの30歳以上のチーム（Amazonas）であった。大会MVPには攻守に亘り好プレーを見せたクレベール・ニワ選手が選ばれた。

21日の開会式では、関口在マナウス日本国総領事が挨拶し、移住初期から日本人達は野球を楽しんできており、今日のブラジルにおける野球は、日本人移住者達が広めたと言っても過言ではなく、更に最近ではJICA日系社会ボランティアの協力もあって、ますます野球がブラジル社会に浸透してきているのは大変喜ばしいことである旨述べた。

試合後の表彰式・歓迎会では、お互いの健闘を称えあい交流を深め、来年の再戦を誓い合った。また、次回大会にサンパウロ州からも参加の予定がある等、マナウスは今から来年の大会に向けて準備を進めている。

マナウス青年野球大会でプレーする選手から2020年東京オリンピック・パラリンピックのブラジル野球代表選手が選出される可能性もゼロではないのかもしれない。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 日本カレンダー展 (アマゾン)

日時：11月10日(土)～12月01日(土)

場所：西部アマゾン日伯協会講堂

内容：日本のカレンダー(2019)を展示。

(イ) 高校生に向けた日本国費留学説明会 (パラナ州クリチバ市)

日時：11月14日(水) 15:00

場所：パラナ SESI 高校 (Av. Cândido de Abreu, 200, Centro Cívico, 80530-902, Curitiba PR 0800 648 0088)

内容：将来日本留学に関心のあるパラナ SESI 高校生たちに向けた日本国費留学説明会

(ウ) パラナ連邦大学における日本経済及び日伯経済・投資に関する講演会 (パラナ州クリチバ市)

日時：11月14日(水) 19:00

場所：パラナ連邦大学:Ed. D. Pedro I, anfiteatro 800, 8º andar, Campus Reitoria, Rua General Carneiro, 460, Curitiba, PR)

内容：アレッシャンドレ・ウエハラ USP 教授/シルヴィオ・ミヤザキ教授をパラナ連邦大学に招聘し、日本経済及び日伯経済・投資に関する講演会を実施

URL

<https://www.facebook.com/tadaima.culturaoriental/photos/a.201094619961470/2182754538462125/?type=3&theater>

(一般開放・入場自由)

(エ) ボアビスタ日本文化週間 (ロライマ)

日時：11月24日(土)

場所：ロライマ市ガーデン・ショッピングセンター

内容：ロライマ州ボアビスタ市において、折り紙、日本式包装、日本料理教室、漫画教室、太鼓の演奏、カレンダー展等を開催

(オ) 第17回マリンクラブ絵画展 (サンパウロ)

日時：11月27日(火)～11月30日(金)

場所：在サンパウロ総領事館3階多目的ホール

(カ) 日本文化作文コンテスト (アマゾン)

日時：11月30日(金)

場所：アマゾナス州立ジジャウマ・バチスタ日本語バイリンガル中学校講堂

内容：アマゾナス州教育局協力のもと同バイリンガル校にて日本語・日本文化に関する作文コン

テストを実施。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

2017年12月8日付で内容を改訂したので御確認下さい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで御確認下さい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html